

年間教授計画 2023年度 (4月～2月)

科目: パース技法	クラス: 2年]組 学科: クリエイター科 コース: 全コース	担当: 石橋和典	教科書: 風景デッサンの基本	授業数: 4時間/週	年間授業: 120時間
-----------	--	----------	----------------	------------	-------------

授業概要: 透視図法(パースペクティブ)の応用をいろいろなかたちで挑戦し、作品化させたい。授業の最終期はPhotoshop画像処理の復習を行う。
最終到達目標: 正確なパースペクティブにとらわれ過ぎないで大丈夫。大切なのは立体感表現の感覚をしっかりと身につける事。

月	週	大項目	中項目	到達目標	評価方法	使用教材	授業方法		
4月	1	奥行き、空間のある作品 「○○」を立体的に表現す (注) ○○については未定	制作手順 以下を話し合っって方向性を決める ア) なにをつくるか?(テーマ設定) イ) ア)のもっとも大切な要素は? ウ) 表現方法(デジタルorアナログ) エ) 彩色を行う、行わない	イメージを形にできる	提出された作品 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	原則:PC実習		
	2								
5月	3								
	4								
	5								
6月	6	奥行き、空間のある作品 「○○」を立体的に表現す (注) ○○については未定	制作手順 以下を話し合っって方向性を決める ア) なにをつくるか?(テーマ設定) イ) ア)のもっとも大切な要素は? ウ) 表現方法(デジタルorアナログ) エ) 彩色を行う、行わない	イメージを形にできる	提出された作品 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	原則:PC実習		
	7								
	8								
7月	9								
	10								
	11								
9月	1	奥行き、空間のある作品 「○○」を立体的に表現す (注) ○○については未定	制作手順 以下を話し合っって方向性を決める ア) なにをつくるか?(テーマ設定) イ) ア)のもっとも大切な要素は? ウ) 表現方法(デジタルorアナログ) エ) 彩色を行う、行わない	イメージを形にできる	提出された作品 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	原則:PC実習		
	2								
	3								
	4								
10月	5	奥行き、空間のある作品 「○○」を立体的に表現す (注) ○○については未定	制作手順 以下を話し合っって方向性を決める ア) なにをつくるか?(テーマ設定) イ) ア)のもっとも大切な要素は? ウ) 表現方法(デジタルorアナログ) エ) 彩色を行う、行わない	イメージを形にできる		説明プリント 参考作品	原則:PC実習		
	6								
	7								
11月	8								
	9								
	10								
12月	11	Photoshop集中講義1	Photoshopのおさらい1 ・練習課題を使って基本のおさらい ・練習課題を使って応用を学ぶ	反復練習を経て技術を 身にしみ込ませる	提出された課題 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	PC実習		
	12								
	13								
1月	14	Photoshop集中講義2	Photoshopのおさらい2 ・練習課題を使って基本のおさらい ・練習課題を使って応用を学ぶ	反復練習を経て技術を 身にしみ込ませる	提出された課題 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	PC実習		
	15								
	16								
2月	17	Photoshop集中講義3	Photoshopのおさらい3 ・練習課題を使って基本のおさらい ・練習課題を使って応用を学ぶ	反復練習を経て技術を 身にしみ込ませる	提出された課題 完成までの行程 出席率	説明プリント 参考作品	PC実習		
	18								
	19								
成績評価方法	項目	期末試験	平常試験	課題提出率	課題内容	出欠状況	授業態度		
	割合			0.2	0.5	0.2	0.1		
		資格取得等							

平常試験: 授業内に実施する試験 課題: 実習, 演習, 宿題等 課題提出: 課題の提出率 課題内容: 課題の出来具合
上段の評価: 評価する時期と評価方法を必ず記入